

「地域への恩返しを」胸に
ワインづくりで
より魅力的な地域に

えんどう しゅうぶん
遠藤 秀文

株式会社ふたば 代表取締役社長・技術士（建設部門）

昭和46年（1971）、富岡町生まれ。
大学進学で上京後、大手建設コンサルタント会社に就職し20数カ国で
ODA（政府開発援助）に関わる。2007年に帰郷し父が立ち上げた
双葉測量設計㈱に入社。2013年に社長就任。
一般社団法人とみおかワインドメーン 代表理事。

「会社はどうするんだ」。それが震災の3日後、避難所で陣頭指揮を
執っている父とようやく衛星電話がつながった時の第一声でした。
私の父、故遠藤勝也は2013年までの16年間、富岡町長を務めました。
「地域に育てられた会社だから、恩返しをしなければ」という父の言葉に背を押され、
4月11日に業務再開。半分に減った社員とふるさとの復旧・復興に努めました。
自宅、社屋のほか多くを失いましたが、あの非常事態では海外での仕事経験が
役に立ちました。先遣隊が異国に乗り込む時はトランク一つ。「パソコンさえあれば
なんとかなる」と意外に冷静でした。2013年には地域の課題解決に幅広く
取り組むため、社名を「ふたば」に変更。現在はドローン、3Dスキャナーなどを
使った各種調査や建設コンサルティング、まちづくり等をしています。
一度は人がいなくなった町をつくり直すのは、世界で初めての経験。
コミュニティ再生の一助になればと、本業とは別に2016年から「ワインづくり」も
始めました。ブドウの木は長寿で、百年以上も実を収穫できる上に、美しい景観が
形成されて地域に求心力が生まれます。今、大切なのは「震災前より
魅力的な地域にしたい」という視点を持ち続けることだと思います。



2019年にブドウを初収穫。試験醸造で2020年に誕生した
若いワインは、海の幸に合うフレッシュさがある